

「自立・自尊」

～アフターコロナへの願い～



学校長 横山 豊

新入生の皆さん、本日のご入学おめでとうございます。

在校生の皆さんも、ご進級おめでとうございます。

今年1月18日、新春恒例の「歌会始の儀」が皇居・宮殿で開かれました。天皇陛下は3年連続で新型コロナウイルス禍を取り上げ、人々に早く日常の生活が戻ることを願い、次のような歌を詠まれました。

「コロナ禍に友と楽器を奏でうる喜び語る
生徒らの笑み」

2021年に和歌山県で開かれた国民文化祭で、吹奏楽部の高校生とオンライン交流をした際、生徒が制約のある中でも練習を続け、友だちと一緒に演奏できる喜びを語った姿を嬉しく思われ、この歌を詠まれたのだそうです。

「コロナ禍」となり遂に4年目に入りました。特に初めの2年間は、日本国民がそして世界中の人々が楽しみにしてきた多くのイベントや行事が、延期または中止となってしまいましたが、昨年ぐらいから「ウィズ・コロナの時代」と呼ばれるようになり、学校行事もかなり通常に近い形で実施できるようになりました。

そして、ついに5月8日より新型コロナウイルスもインフルエンザと同じ第5類に分類されることになりました。今年度はより当たり前の日常が戻り、喜びに満ちた学校生活となっていくことを願います。

さて、本校は今年の10月18日で創立120年を迎えます。1903年の創設以来、本校の発展のエンジンとなってきたのは、「自立・自尊」という建学の精神です。「常に自分を大切にし、人としての自立を目指すこと」を意図します。本校は常にこの「自立・自尊」の建学の精神のもと、「知・徳・体」のバランスが取れた教育を行い、これからの日本を支えていく「心豊かで、たくましく、自ら考え行動できる優れたリーダーの育成」を目指していきます。

皆さんには、新型コロナや局地戦争により混乱する現代の世界において、常に溢れる情報を精査し、真実を見抜き、誠実に対処できる「自ら考え行動できる」人間になってほしいと思います。

また、本校の教職員は、学園創設時における佐々木とよ先生の言葉にある「我ら真心もて教えの任に当らん」という教えを守り、「生徒に夢をあきらめさせない教育、生徒の指導に手間を惜しまない教育」を心がけています。

新入生の皆さん、そして在校生の皆さん。目指していくべきは、それぞれの夢の実現です。大きな夢を持ち、それに向かって努力を継続する。そうすれば、きっと皆さんの夢はかないます。「大志・継続・実現」これが本校の目指すところ、本校のスローガンでもあります。

令和の、そしてその先の日本を立派に支えていく、新型ウイルスなどには負けないたくましい人間へと皆さんが成長していくことを信じています。ともに頑張っていきましょう。